

事務局会計　： 塩谷 壽子

投 稿 『阿寺の岩場』 安全祈願祭に参加して

広場前で参加者一同

平成 30 年 4 月 15 日 UD・A・C 山口 新二
当日「UD・A・C」は、年間計画により、岩登りトレーニングを今年は、「平戸 or 阿寺」の岩場で計画してみました。数日前から天気が危ぶまれ、前夜より前線を伴う気圧の谷が通過でまとまった降雨があり、安全を考慮して前日急きょ中止とした、雨は朝方あがり、午前曇りで昼過ぎより日差しが出てきた。岩場は昼ごろ迄濡れており、安全を見て中止で正解と考えるところである。

今回岩登りトレーニング 10 名参加を予定して、岩登りトレを兼ね、この地の安全祈願祭に参加のところ悪天候で中止としたが、お神酒も奉納したことだし、今後の参考に事務局として 1 人で安全祈願祭に参加してみた。参加人数は主催者・関係者含み、約 30 名程度(写真から数えた人数で、正確な人数不明)であり、地元関係者・駐在所・自衛隊有志・阿寺岩場愛好登山グループ・埼玉岳連関係者等の皆さんでした、修祓(しゅばつ)の儀で清め、地元神主の厳かな祝詞が始まり、参加者の玉串奉奠(たまぐしほうてん)、さらにはありがたい御神酒をいただき、参加代表者の挨拶や記念撮影を行い、祭礼儀式は、参加者の安全の願いを神様をお願いして終了しました、この後アルパイン道場で直会(なおらい)を行いました。

~~~~~

**第 1 回 加盟団体シホ°ジウム**

開催日：5 月 14 日(月) 19:00～

開催場所：大宮 桜木公民館 5 階 講座室 2

参加者：石倉会長(大宮 AC)、相澤副会長(川口市登山同好会)、加藤事務局長(深谷山岳会)、天野理事長、小茂田理事(遠峰山岳会)、道浦理事(加須 SCC)、土屋副理事長(加須 CCB)、横内競技委員長、早川理事(川越山岳会)、深澤代表、高橋理事(川越山の会五十雀)、笠原個人会員委員長(彩・岳悠会)、岩井田広報委員長(あゆむ山の会・川越山の会五十雀)、順不同 ( )所属会・10 団体 13 人

会員の高齢化の問題、各会の問題、課題点などについて意見交換会が開かれ、定例の理事会などでは、時間をさいて話せなかった各会の現状などが導入部分として報告され、終始穏やかな中で意見交換が行われました。

主な交換内容を下記に要約しました。

**1 高齢化の影響はあるか。**

・山行形態がオールラウンドの会は年齢を制限して募集しているので、現在のところ影響はない。

・影響はある。会の年齢構成は高い。

※回答に二つの、状況がみられたが、高齢化で悩んでいる会は今回は少ない。

**2 会員の募集方法について**

・ホームページによる募集、スポーツ店へのパンフ、公民館施設へのパンフ、市報への掲載

・講習会及びハイキング開催時での勧誘

※ホームページでの募集している会が多くみられた。

入会にあたり、山行経歴や人柄なども考慮している会もあった。募集はしているがなかなか入ってこない。

**3 遭難対策積立金について**

各会とも積立金については、それぞれ継続中でありまたは一定額を満たしたため積立てを終えている会もあった。(スポーツライティングについては除く)

**4 マイク使用の山行の取り決め**

各会とも取り決めがあり、参加者で交通費を按分するなどの方法があった。また、マイクは使用せず、レソカーを利用するなどの回答もあった。

**5 県岳連への要望**

多くの人が参加したくなる講習会をもっと行って欲しい。会に対して講習会の要望もしている会員もいるが、対応できない場合がある。

・県岳連にはぜひとも、高い視点での先導者の役割になって欲しい

・今回の会議を定例に開いて欲しい。

文責・議事作成 相澤重夫



石倉会長の議長により開催

## ＊ ＊各委員会 報告・計画4月～7月＊ ＊

### I [指導委員会] 報告

安全登山指導者研修会・実技打合せ会 報告

期 日：5月13日 am9:00～pm3:00

場 所：小川元気プラザ本館・金勝山往復

参加者：石倉 昭一、天野 賢一、加藤 富之、  
野村善弥、瀬藤 武、恵 秀彦、鈴木 一美、松本 善行、  
矢田 実、秋庭 栄、鈴木 百合子、岩井田 正昭



#### 本館ロビーにて「実技打合せ会」会議中

小川元気プラザ本館ロビーにて参加者の集合の後、野村委員長の案内で館内の事前調査を行い、受付ロビー、集会室、研修室、食堂、宿泊室、活動センター、駐車場などの実地確認を行った。ロビー集会コーナーで『安全登山指導者研修会』日程表の確認、屋外、屋内での講習内容の調整、修正を行う、調整会議後、全員で杉木立の「金勝山」へ登り講習予定コースを確認、『本館⇒裏金勝山⇒金勝山⇒第一避難小屋⇒金勝山⇒本館』へと同じルートに戻る。瀬藤委員長作成の拡大マップを基に、入山口、途中の分岐点、山頂までのルートを実際に往復歩いて確認した。

昼食後、集会スペースを利用して搬送法などを再確認し、雨模様の本館前で夕刻解散した。

記録：岩井田

~~~~~

II [競技委員会] 報告

第19回リード Kazo クライミングカップ2018

加須市民体育館にて、19回目を数える「加須カップ」を開催した。毎年色を変えて配られる「加須市スポーツ振興課」が作成したパンフレットをめくると、18人の歴代優勝者の顔ぶれが記されている。第1回の松島 暁人選手に始まり安間 佐千の名前も記されている。国内の有数のスポーツクライマーは皆「加須壁」を登ってきた証でもある。

会 場：加須市民体育館

期 日：5月27日(日)

参加者：152名

参加都道府県：10 都県(北は宮城から南は長崎まで) 審判長：門間 希美 セッター：小澤 信太、中野 稔、松岡 準弥、運営スタッフ：加須市岳連 36名 埼玉岳連 18名 埼玉高体連 3名 千葉岳連 2名(計 60名)

過去を遡ってみても、最多に近い参加者数と最多の参加都県数となった要因として、JMSCAの主催する「リードジャパンカップ」の公認予選会となったことが大きい。参加者の顔ぶれは、準ジャパンカップといった錚々たる選手が集まり、同じくジャパンカップだけでなく国体埼玉代表の選考会も兼ねた大会でもあるため、選手だけでなく運営スタッフまでも、それぞれの目標に向けた気持ちの入った競技会になることが予想された。運営スタッフまでも気持ちが入ったというのも、参加者の多いリードの競技会は時間との勝負でもある。アイデア溢れる他の競技会の「いいところ取り」というわけではないが、競技スケジュールは事前に集まったスタッフが経験を生かして、壁の割り振りからカテゴリ別で時間を分けて行った表彰式など知恵をしばり、また前日にはルートセットのお邪魔をして、参加者の安全を期すための「ビレイ講習会」も行なって、「加須市流おもてなし」で当日を待つこととなった。

競技開始：9:00 競技終了・表彰式：19:15

リザルト(ダイジェスト)は※別表の通りだが、エキスパートと女子の部に限ると、エキスパートは完登者1名、女子の部も完登者こそ出なかったが、ハッキリと結果(順位付け)出来る結果となり、それぞれの選手が次へとつながることの出来た大会であったと思う。

大きな怪我もなく(使用した医薬品等は、カットバン2枚)セッターの程良いサジ加減のセットで、進行・結果ともに大きな混乱もなく当初のタイムスケジュール通りに終わることが出来た。19回目を終えた「加須カップ」であるが、2000年の第1回目は48名の参加者の大会だった。

子供の成長のように少しずつ参加者も増え、県内コンペというよりもジャパンカップに準ずる大会となって、寂しさを感じる方もいらっしゃるかもしれませんが、また、少しだけ敷居が高く感じて、参加することを躊躇される方もいらっしゃるかもしれませんが、加須壁はいつでも皆さまをお待ちしますし、加須壁で行う大会は11月にも行います。皆さまの参加を心待ちするとともに、今回の「加須カップ」での選手の皆さまと運営スタッフ・加須市スポーツ振興課の皆さまにお礼を申し上げます。

文責：横内鉄郎

【キッズ】1位：武石 初音、2位：山田 航大、3位：池原 悠太、【ビギナー】1位：沢村 秀士、【スーパーミドル】1位：猪鼻 碧人、【女子】3位：小池 はな、

【エキスパート】1位：本間 大晴、2位：波田 悠貴、

※編集注・埼玉県選手のみ掲載

Ⅲ [遭 対 委 員 会] 報告

平成30年度 読図、アクシデント対応講習・研修会

期 日：平成30年7月7日(土)～8日(日)

場 所：東吾野アルパイン道場及びカガネまでの登山道
夏山シーズンに備え、簡便な読図とアクシデント対応を実
地で行う事を目的に講習・研修会を2日間に渡り
開催、初日の夕刻にヘッドランプのみで登山道を歩く。

①地図読み 夜間読図(土曜・夜間)の翌朝(日曜)
前日の通過地点の比較照合を行う。

②ツェルト使用のビバーク疑似体験

③搬送体験 ツェルト利用の各種搬送方法、ザック担架
の作成と負傷者の搬送、その他 ロープワークを実践。

講 師：瀬藤 武・遭対委員長、

アシスタント：松本 善行、記録：岩井田 正昭

オブザーバー(アルパイン道場主宰)・大野 文雄

〈講習会参加者〉

[大宮岳稜会]：西尾 学、佐藤 優子、[あゆむ山の
会]：菊地 昌代、[個人会員]：池ヶ谷 潔、[防衛
医大山岳同好会]：小林 美珠穂、鈴木 茜、伊藤 正
孝、[エコー山の会]：詫摩 幸照 記録・岩井田



机上で地図の読み方の講義を受ける

Ⅳ [自然保護委員会] 報告

自然観察会実施 報告

6月2日(土) 地質学講師本間岳史氏を迎え、越
生大高取山に20名の参加者で自然観察会を実施
しました。当日は9月《山の日イベント》の勉強会を
兼ね同スタッフも参加、大高取山は海洋プレート移動など
による二階建構造の山で、上下地層年代の逆転が
見られるとのこと。濡れた登山道など滑り易いチャ
ート、風化し易い緑色片岩、海底2000m位から隆起し
た化石ウミウシも見られる石灰岩など岩石一つを取っ
ても興味をそそる。

また、登山道脇の崖地にも断層がみられ、埼玉と
群馬県境には中央構造線が走ると云う数億年前の

地質が蝕視出きる大高取山。此れを機会に幾度で
も訪れたい山である。実際に調査活動される本間
講師曰く、風化が進んだ尾根山頂より、谷沢筋に良
質の地層が良く見られるとの事です、岳人には
関心共感を以って講話が聞けたのではないでしょ
うか。余談ですが、東日本震災以後 地震火山活動
が活発化したとも云われてます。地質学に見られ
る年代構成からすれば、◎×発生率1パーセントなど
と云われても、明日の出来事かもしれぬ事を心し
たい。

自然保護委員長 増田 修

参加者 8団体21名

講師：本間 岳史 (元埼玉県立自然博物館館長)

：村越 百合子 (日本山岳会埼玉支部)

桜草山の会：6名、日本山岳会埼玉支部：1名、蓮田

山岳会：1名、川越山の会五十雀：2名、UD・A・C：1

名、川口市登山同好会：7名、深谷山岳会：1名。



大高取山 自然観察会参加者

V [海外登山委員会] 報告・計画

海外登山委員会第1回例会報告

日 時：平成30年5月8日 19:00～21:00

場 所：大宮『ポプラ』

参加者：天野 賢一、大山 光一、加藤 富之、
風間 進、小茂田 利孝、塩谷 壽子、山際 登志夫、
※小沢 博一、 計8名 ※新加入会員

議題：

◆今年度の全体計画について

本年度の開催したい事業は以下のとおりです。

①海外登山委員会講演会

可能ならば本年度に実施計画。今後講師の調整

②海外登山のための高度順応体験登山

若い人の海外への関心と勧誘のため、県岳連傘下
の山岳会に広報でのパンフレット折込や理事会などの
会合で直接声掛けを行う。

山 域：富士山(頂上付近で宿泊)

期 日：9月8日(土)～9日(日)・山小屋泊

交通手段：小型バスチャーターか個人車乗合

募集人数：10名程度(引率は海外登山委員)

参加費：(交通費・宿泊費 15,000～20,000円)

③委員会主催の海外登山計画 実施は来年度

山域：北インド・ラダック「カン・ヤツェ」6401m

期日：8月のお盆休みを挟んだ10日間

④平成30年度JMSCA国際委員総会兼第57回

海外登山技術研究会

④新入会員紹介 小沢 博一(蓮田山岳会・所属)

海外登山委員会 山岳講演会のご案内

花谷 康広氏『遥かなる高峰をめざして』

主催：海外登山委員会

開催期日：11月13日(火) 18:30～20:30

開催場所：大宮ソニックシティ905号室

募集人員：先着50名

募集要項：詳細は山岳連盟HPを参照下さい。

海外登山委員会・実行委員会

Ⅵ [ジュニア委員会]報告

5/12-14 インターハイ予選(雲取山・武甲山) ※生徒414

名、顧問76名、計490名参加

インターハイ参加校 男子：和光国際高校 女子：浦和一女

関東大会参加校 男子：川口高校、坂戸高校、深谷高校、正智深谷高校、秩父農業高校

女子：春日部女子高校、坂戸高校、正智深谷高校

6/19 夏山机上講習会 講師：瀬藤遼対委員長

※高体連の加盟校数・人数について

加盟校数72校、顧問194人、部員964人。

Ⅶ [個人会員委員会] 報告・計画

今年度の事業は以下の通り実施します。

平成30年度事業計画 講師は山岳指導員

5月23日(水)講習例会・ロープワーク(終了)

6月10日(日)講習山行・岩稜実技(雨天中止)

7月25日(水)講習例会・読図座学(終了)

9月26日(水)講習例会・沢登技術 シーノ大宮

9月30日(水)講習山行・沢登実技 ボンボリ沢

11月7日(水)講習例会・登攀技術 シーノ大宮

11月18日(日)講習山行・登攀実技 阿寺の岩場

1月23日(水)講習例会・雪山技術 シーノ大宮

2月24日(日)講習山行・雪山&山スキー実技

3月6日(水)講習例会・※気象座学 シーノ大宮

3月28日(水)委員会総会(会員のみのみ)

※気象講習会講師は調整中。

Ⅷ [トレラン担当]活動報告

2018.6.11・参加報告・石倉 昭一

○トレラン実行委員会：奥宮事務所

2月2日、4月6日、5月28日

○トレラン意見交換会：飯能市役所、

2月8日(主催：埼玉県みどり自然課)

○トレラン大会の秩父説明会：秩父地場産センター

3月5日、5月17日(他：奥宮、菊間)

○トレラン事故現場：秩父・大持山現場付近

3月30日(献花慰霊・瀬下、宮崎他11名)

○埼玉県庁訪問：県庁・スポーツ振興課

6月7日(奥宮、菊間)

○毛呂山町役場・日高市役所訪問

6月8日(奥宮、菊間)

Ⅸ [カレンダー制作担当]お知らせ

2019年カレンダー-写真募集中!

今年も「カレンダー-写真」を大募集いたします。締め切りは8月末日。あなたの作品で山岳連盟カレンダーの1頁を飾らせてください!山行の思い出を切り抜いた「あなたの1枚」から滲み出る感動は必ずほかの会員にも伝わるものです。この感動の共有の輪をカレンダーを通して広げてゆきましょう。

風景はもちろん、スナップでも、山で出会った動植物の写真でもOKです。そうはいつても、写真の良し悪しというものはなかなかわからないものです。そこで今年は、秩父在住の写真家、新井靖雄氏にお願いしまして、応募者全員に作品の講評をお返しする予定です。

写真撮影に自信のない方でも、プロの写真家からのアドバイスをもらって、少しずつ上達していただくという企画です。どうぞ、スマホとパソコンを隅まで探して、自信作をご応募ください。

詳細は山岳連盟HPを参照、または下記アドレス宛て、お問い合わせください。 QZA04257@nifty.com

制作担当 伊藤 正孝(防衛医大)

【計 報】

5月10日、今雪 雅夫氏が「大動脈解離」でご自宅で亡くなりました。ご家族希望で、家族葬に近い形を取られ、ご葬儀は15日に済まされました。

あゆむ山の会 所属・海外登山委員
此処に謹んで哀悼の意を表しご冥福お祈りします
埼玉県山岳連盟

平成30年7月理事会報告

7月11日(水)午後7時30分～ 北本市中央公民館

0出席

石倉会長、天野理事長、瀬藤副理事長(遭対)、横内副理事長(競技)、内海(強化)、増田(自然)、山際(海外)、岩井田(広報)、笠原(個人)、各委員長。
堀江(桜草)、塩谷(大宮)、小高(アルム)、小久保(壁稜)、長谷川(熊谷)、計良(東部)、詫摩(エコー)、小沢(蓮田)、道浦(加須SCC)、土屋(加須CCB)、矢萩(B7)、井上(MACC)、富士田(山あるき)、鈴木(山塾)、岩田(岳稜)、高橋(五十雀)、浅井(TM)、折原(溪稜)、秋元(彩岳)、伊藤(防衛医大)、早川(川越)、沼田(草加)、関(山旅)各理事、加藤事務局長 計:32名

1 開 会

2 会長挨拶 石倉会長

3 報 告

- ①5/14 「1回加盟団体シボジウム」 大宮
- ②5/27 クライミングカップ 2018 加須
- ③6/2 大高取山自然観察会兼
山の日イベント岳連スタッフ学習会 大高取山
- ④6/3 「奥秩父山開き式」 霧ヶ藻峯
- ⑤6/23-24 第1回コンバイントジャパノカップ 岩手大会
盛岡

4 協 議

- (1)5/14「第1回加盟団体シボジウム」報告と課題
- (2)9/1 2018「山の日」イベントについて
6/2 岳連スタッフ学習会(自然保護委員会:大高取山自然観察会講師:本間岳史)
- (3)平成30年度「安全登山指導者研修会」について
6/末「地区別開催要項」発送(日山協)
7/15 現地調査 10:00 村越講師、野村、瀬藤、秋庭、岩井田 小川元気プラザ～金勝山
7/28 実技打合せ 9:00～12:30
代表者会議 13:00～15:00 小川元気プラザ
- (4)「ジョニア育成事業補助金」について
- (5)「安全山講習会・講演会」の企画募集について
- (6)「2019カレンダー」の作成について詳細はHPから
- (7)その他
- ①新規加盟申請「チーム・ファントレイルズ」(代表・奥宮俊祐)
今回は見送り、次回理事会で再確認の上決定。
- ②名義後援の申請 彩・岳悠会主催「第2回初級登山
10/3～11/11 まで全5回」について
- ③徳島県岳連「天神丸風力発電所建設計画の中止を求める署名」について
- ④熊谷山旅会 役員等変更について
- ⑤2018-19 会員証の発行 応募締切 7/31
- ⑥役員候補者の選考について

5 各部からの報告等

①指導委員会

- 平成30年度指導員養成講習会について
- 千葉県山岳連盟でスポーツ・クライミング指導員養成講習会の開催について
- AC主任検定員 検定会認定 有効期限 2022/3/31 秋葉 栄(県岳連・監事/あゆむ山の会所属)

②競技委員会

- 6/23-24 第1回コンバイントジャパノカップ 岩手大会について 盛岡
- 7/28-29 第73回国体関東ブロック大会について
- 審判員の推薦:片田 多可世、柏尾 将太(川越山岳会所属)

③選手強化委員会

- 6/22 平成30年度臨時選手強化対策委員会
- 7/3 平成30年度埼玉県選手強化コーチ研修会兼第73回国民体育大会必勝対策会議
- 7/28-29 第73回国体関東ブロック大会について

④遭難対策委員会

- 22-24 JMSCA 遭対委員総会 海員会館
7/7-8 アクシデント講習会 東吾野(スタッフ3,参加者7)
- 7/11 平成30年度全国山岳遭難対策協議会
- ⑤自然保護委員会
- 5/15-6/30「クリーン登山」、埼玉の山トレ事情集計中
7/15 自然保護常任委員研修会 刈ヶ
8/25-26 関東自然保護委員会交流会 雲取山荘
奥多摩小屋検証、研修などについて
11/23-25 JMSCA 自然保護委員会指導員総会

⑥海外登山委員会

- 6/23-24 JMSCA 平成30年度国際委員会総会兼第57回海外登山技術研究会 栃木
山際、天野、鳥、鈴木、加藤 参加
- 8/7 大宮求氏(日山協海外常任)お別れ会
- 9/8-9 海外登山のための高度順応体験登山 富士山
- 11/13 18:30～20:30 海外登山委員会講演会「花谷泰広氏講演会」ソニックシティ905号室
- 「2019ヒマラヤ登山隊」計画・2019年8月中旬 インド・ラダック カン・ヤツェ6401m 登攀隊+TR隊、

⑦ジョニア委員会

- 6/19 夏山机上講習会 講師:瀬藤遭対委員長

⑧広報委員会

- 7/末「岳連報」第61号発行 新装8P

⑨企画委員会

- 11/17-18 第4回FTR10&T50 開催決定

⑩個人会員委員会

- 7/25 講習例会(読図) 講師:岩井田 シノ大宮

⑪事務局

- 6/16-17 第57回全日本登山大会京都大会 京都
- 7/21-22 平成30年度安全登山サライセミナー 刈ヶ

8/25-30 平成30年度登山リーダー夏山研修会 立山
 8/31 〆切 日本山岳遺産基金 山岳遺産候補地の
 募集 山と溪谷社内 日本山岳遺産基金事務局
 ※今年開催の関東岳連の「70周年記念式典・祝賀
 会」予定 11/10(土) 東京都山岳連盟
 12/ 8(土) 栃木県山岳連盟
 12/15(土) 山梨県山岳連盟
 ※高体連の加盟校数、人数について
 加盟校数 72校、顧問 194人、部員 964人
 ※県岳連の加盟団体人員数の報告 計 45団体
 1184人+高体連 1158人

6 閉会挨拶

※詳細議事録は県岳連月報を参照

退会のお知らせ

退会：6月5日：山岳同人埼玉 代表 柳下 明男
 昭和 56 年(1981)・大澤 亮一元県岳連会長、野井
 篤元副会長(現・2018 山の日実行委員会・顧問)、
 尾崎 正義元事務局長、沢入 保忠指導員らが創設。
 s57: 台湾・玉山、雪山、韓国にも遠征、h1: 日台玉山
 親善友好登山、キハル、インドヒマラヤ・ラダキ・ピークの記録。
 h17(岳連 50 周年時)9 名。

広報委員会 mi

【編集後書】 【広報委員会】お知らせ

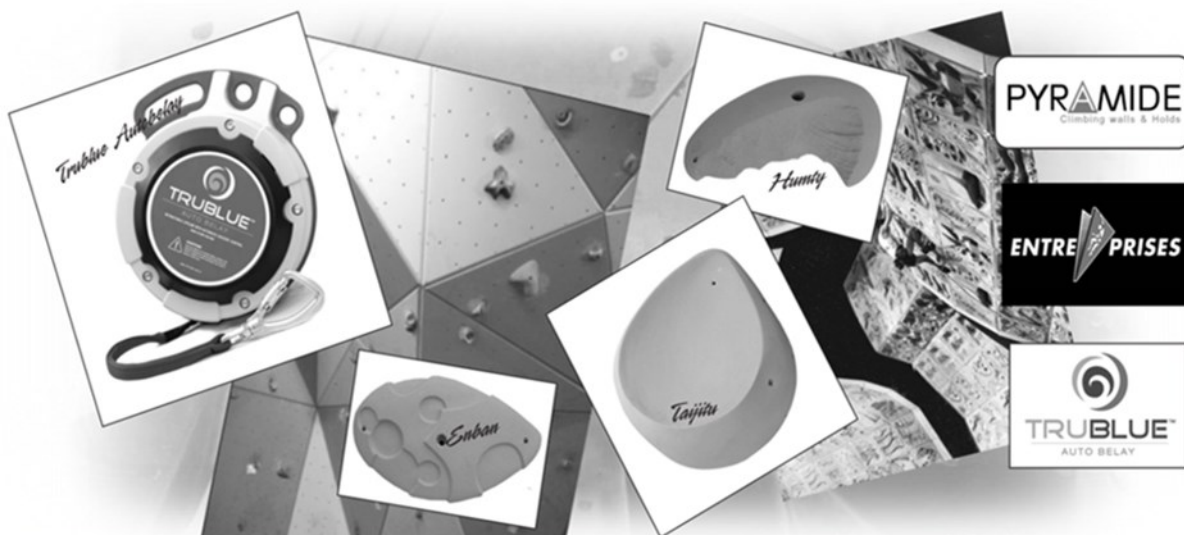
- 61号から8ページ建てに紙面の変更を行いました。
- ・巻頭言+巻頭写真は毎年4月号時のみとします。
 - ・本文のフォント(文字)を大きく(11pt)しました。
 - ・原則英字、数字、カタカナは半角で表示します。
 - ・各委員会報告・計画は発行月直近の理事会報告などから抜粋、これを再編集し掲載します。
 - ・各委員会の事業等の募集、計画案内はタイトル込みで400字程度にまとめて発行予定の2週間までに提出下さい。本誌に掲載します。
 - ・個人山行、会山行の報告は「投稿」として、優先掲載します。jpeg 画像2枚を添付下さい。
 - ・次回62号は10月末発行。記事は下記予定
 2018「山の日」イベント ・報告(実行委員会)
 安全登山指導者講習会 ・報告(指導委員会)
 福井しあわせ元気国体 ・報告(競技委員会)
 県岳連クリーン登山 ・報告(自然保護委員会)

広報委員会専用：smf_kouhou@yahoo.co.jp

又は：miwaida@mua.biglobe.ne.jp

山に関するニュース・画像を是非提供下さい。

広報委員長 岩井田 正昭



取り扱い製品

- ・クライミングウォール
ピラミッド、アントレプリーズ、当社オリジナル
- ・ホールド
アントレプリーズ、草ホールド、Wall Street
- ・オートブレーシシステム
TRU BLUE

クライミングウォールの設計、施工と

ホールドなどの関連製品の販売をおこなう会社です。

ピラミッドジャパン株式会社

〒357-0062 埼玉県飯能市永田387-5

Tel: 042-980-5650 Fax: 042-971-6780

URL: <http://pyramide-japan.com/>

Mail: pj-info@pyramide-japan.com

ホールドのご用命は<http://hold-market.com/>へ

ALP K2®



自 然の中で過ごすのに気持ちのいい季節です。大勢の山仲間との山行でも、あるいは単独行の山行でも、大切なのは健康管理です。あなたの動脈血の酸素量が今どの位なのか、脈拍数はどの位なのか、正確な機械で測定してみてください。医療機関等で使用されているパルスオキシメーターを、特価でご提供致します。ぜひご利用下さい。

季 節の変わり目です。親しい方にデジタル血圧計を差し上げたいかがでしょう。お誕生日、結婚式、もちろんご自身にも。用途に応じて対応させていただきます。山行に持参できる小型タイプもございます。血圧は健康のバロメーターのひとつです。どうぞお問い合わせ下さい。



登 山行動中や野外活動中に本格的な聴診器はいかがでしょう。樹の幹に聴診器を当ててみると、色々な音が聴こえてきます。葉の擦れる音、遠くの小川の音。虫の声、鳥の声。樹はまるでパラボラアンテナのように色々な音を集めます。ご家族のペットの心音を聴いてみるのもいいでしょう。人間とは違った鼓動に新しい発見があるでしょう。ぜひトライしてみてください。

埼玉県山岳連盟の活動を応援している田中産業株式会社は1969年の創立。世界80数カ国に製品を輸出しております。



BO - 600

登山者必携
パルスオキシメーター



- パルスオキシメーター
- 歩数計
- デジタル血圧計
- 聴診器
- その他医療器全般

ALP K2® 田中産業株式会社

本社

113-0033 東京都文京区本郷3-16-3

TEL 03-3814-7181 FAX 03-3814-7177

Eメール alpk2@joy.hi-ho.ne.jp

弊社はISO13485を
取得致しております